

平成15年度 環境保全活動報告書



KSK 湖国精工株式会社
滋賀県大津市晴嵐2丁目3-13

湖国精工株式会社 環境方針

企業の社会的責任を認識し、自社から環境汚染を出さないよう「安全・防災・環境保全」の改善活動に積極的に取り組む。

- ① 廃棄物の減量化と、分別処理を推進し、環境汚染の防止に努める。
- ② 省資源・省エネルギーに努め、環境負荷の低減をはかる。
- ③ 環境・地域社会への貢献
企業市民として[ふるさと盛越川を愛する会]の地域の環境活動に参加し、地域社会と調和をはかる。
- ④ 環境啓発活動の推進
環境教育を通じ、環境方針を徹底させるとともに大切さを認識し、意識の向上をはかる。

環境保全のあゆみと取組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負の少ない持続可能なまちづくりに自主的、主体的に行動するとともに協働して取り組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて、環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネジメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

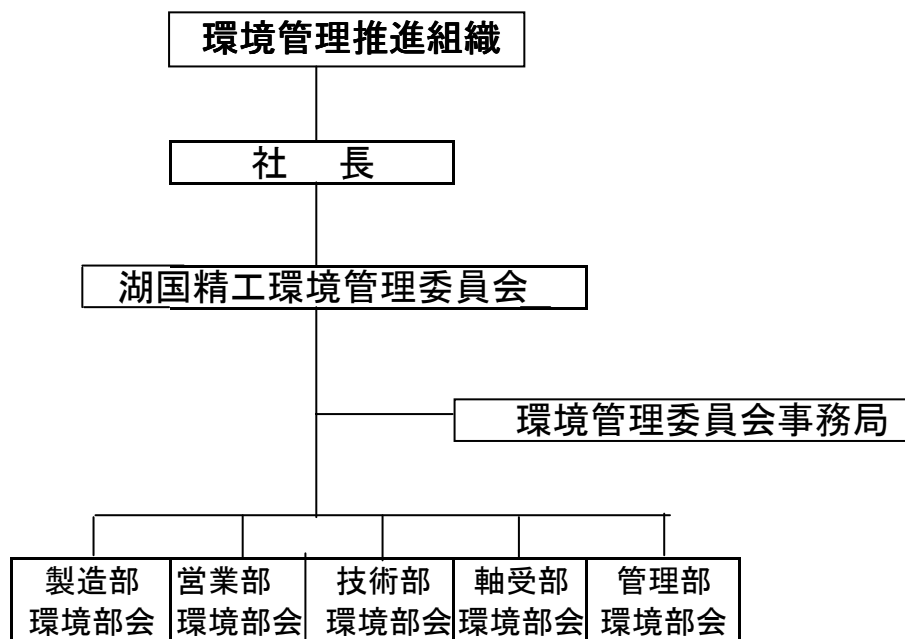
(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回市に報告する。

昨年に続き、平成14年度の取組み結果を報告します。

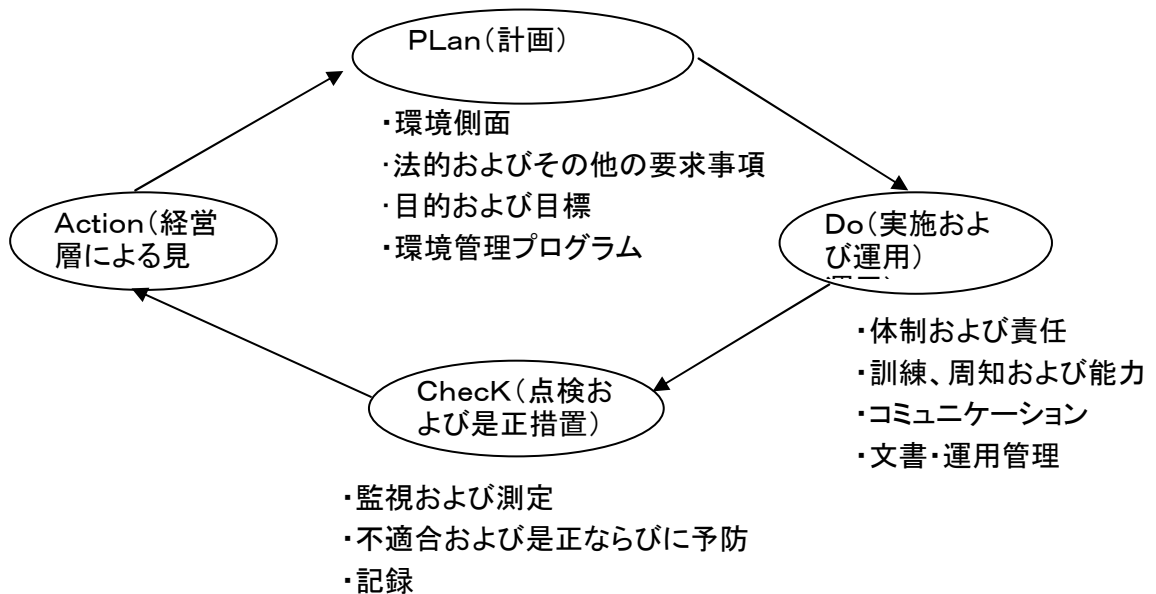
主な環境管理活動

- ① 廃棄物対策: 廃棄物の発生量の削減、分別処理と再資源化の推進
- ② 省資源・省エネルギー活動: 地球温暖化防止にともなうCO₂の排出削減、効率的なエネルギーの使用。
- ③ グリーン調達: 環境負荷の小さい製品部品・材料等の購入。
- ④ 工場周辺の清掃・緑化と景観向上: 企業市民として地域の環境活動に参加し、調和をはかる。
- ⑤ 環境啓発活動の推進: 環境教育を通じ、大気・水質騒音・振動・悪臭等の環境汚染防止に努めるとともに、社員ひとり一人に法・条例の遵守を徹底する。



環境マネジメントシステムについて

(PDCAサイクルによる、継続的改善の管理システム)



<ul style="list-style-type: none"> ・P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。
<ul style="list-style-type: none"> ・汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行う
<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響の原因である環境側面を取上げ、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。
<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・トップダウンで行う全員参加のシステムである。
<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行われる。

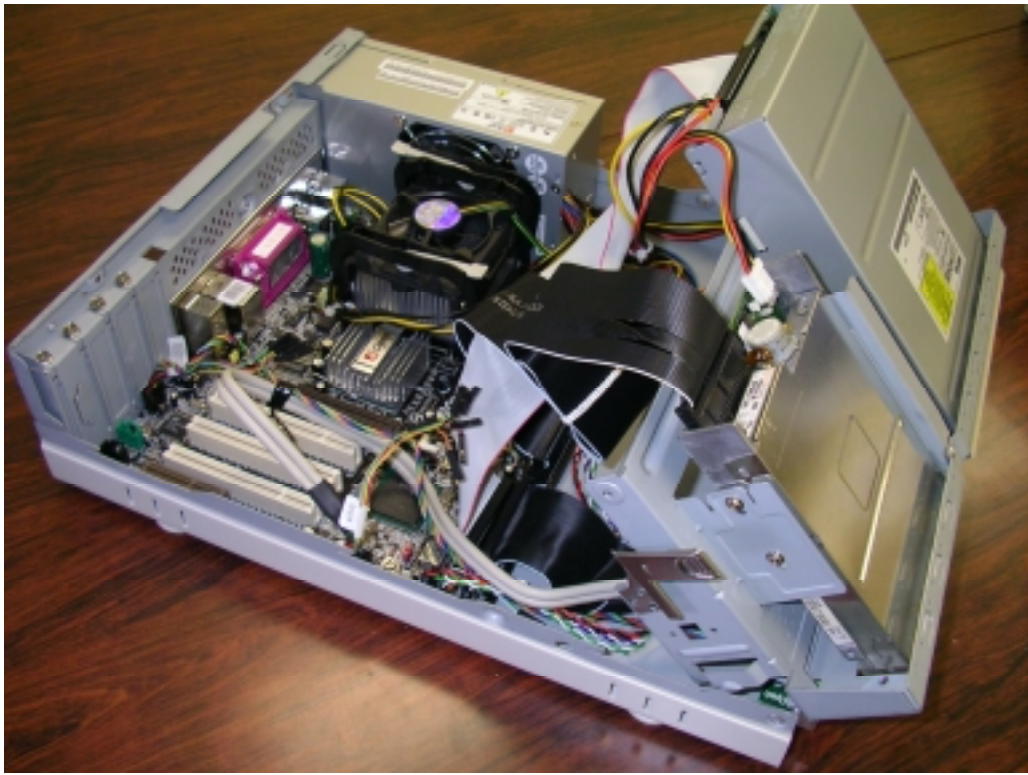
環境中期計画

	2001年	2002年	2003年	2004年
①廃棄物	減量化 (適量購入)	減量化 (納入包装資材の削減) (適量購入)	減量化 (納入包装資材の削減)	リサイクル化 (紙類・廃プラ・廃油)
②省資源	電力使用量の低減 (デマンドメータによる 管理)	包装用緩衝材の変更 (ダンボールからエアーク パックへ)	電力原単位 2002年度に対して 2%削減	用水使用量の削減 (前年使用量の1% 削減)
③地球 温暖化 (省エネ活動)	CO2排出削減 (ガス空調への切替) (アイドリングストップ)	CO2排出削減 (ガス空調への切替) (アイドリングストップ)	CO2排出削減 (ガス空調への切替) (アイドリングストップ)	CO2排出削減 (省エネ車・エコカー の購入)
④グリーン 調達	調達品のグリーン購入 (環境配慮型製品の 購入)	調達品のグリーン購入 (環境配慮型製品の 購入)	調達品のグリーン購入 (環境配慮型製品の 購入)	調達品のグリーン購入 (環境配慮型製品の 購入)
⑤景観向上 と予防	工場周辺の清掃 (盛越川の清掃作業)	廃棄物からの油脂類の 流出防止 (流出防止の溜樹設置)	工場周辺の緑化 (CO2吸収効果の向上)	騒音発生防止 (プレスハンマー音の 騒音防止)
⑥環境教育	環境セミナーへの参加 (滋賀工業会)	環境セミナーへの参加 (滋賀工業会)	環境マネジメントシステム の取組	グリーンオフィスへの 取組

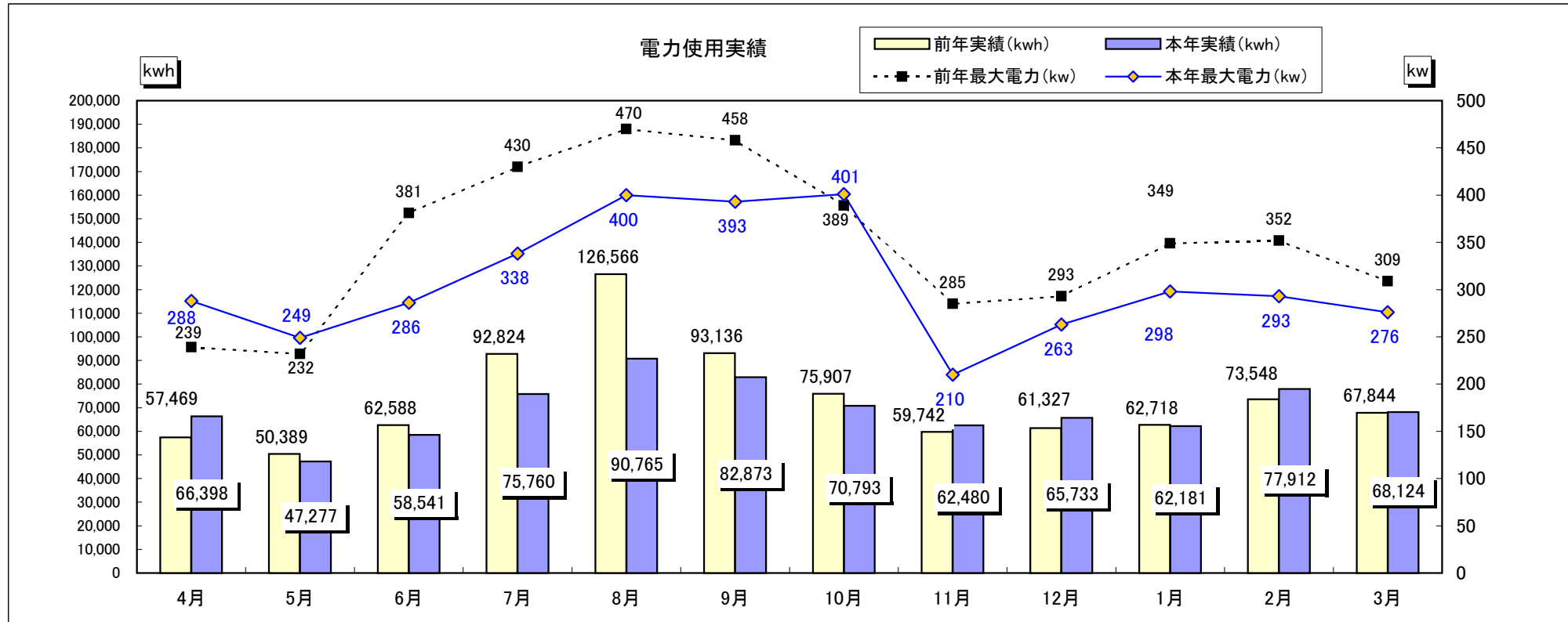
環境管理活動実績報告

①廃棄物	<p>発生抑制 (Reduce)</p> <p>再使用 (Reuse)</p>	<p>納入業者に対して、購入品や材料の搬入時は可能な限り包装材を減らすことと、部品や小物品は通い函により持ち込むように徹底している。また梱包に使った木材、ダンボール、ビニール、発泡スチロール等は持ち返らせている。</p> <p style="text-align: right;">(写真資料 ① 参照)</p> <p>古くなり使えなくなったパソコンは、そのまま廃棄するのではなく社内スタッフが、必要な部品を取り替えるなどのメンテナンスを行い再び使用している。この事により、廃棄物の減量化や省資源化を図っている。</p> <p style="text-align: right;">(写真資料 ② 参照)</p>									
②省資源	電力使用料の前年対比 2%削減	<p>生産機械のアイドル時間の短縮、照明器具の消灯運動、また空調関係のガス化を進めた結果、最大電力では前年-69Kwの401Kw、使用電力は平均-4.602Kwhの69.070Kwhで前年比削減量-6.2%を達成した。</p> <p style="text-align: right;">(資料 ③ 参照)</p>									
③地球温暖化防止 (省エネ活動)	<p>CO₂排出削減</p> <p>アイドルングストップとエコカーの使用</p>	<p>2001年から実施している、空調機の電気からガスヒーポンへの切替えは、今年度も実施しCO₂の排出量を大きく削減した。同時にエネルギーコストの改善も見られた。</p> <p style="text-align: right;">(写真資料 ④ 参照 資料 ⑤ 参照)</p> <p>構内への乗入れ車は必ずエンジンを切り、空ふかしやアイドルングをストップするよう看板を建て徹底している。なお今般企業局より天然ガス車を借用し導入に向けて準備をしている。</p> <p style="text-align: right;">(写真資料 ⑥ 参照)</p>									
④グリーン調達	エコ商品の購入	<p>環境配慮型事務用品の購入 エコマークのついた商品を優先的に購入する。 事務用品に対するエコ商品購入率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">H16/1月</td> <td style="padding: 2px;">72.2%</td> <td style="padding: 2px;">文具・什器備品・OA機器・印刷</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">H16/2月</td> <td style="padding: 2px;">16.1%</td> <td style="padding: 2px;">"</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">H16/3月</td> <td style="padding: 2px;">35.5%</td> <td style="padding: 2px;">"</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(資料 ⑦ 参照)</p>	H16/1月	72.2%	文具・什器備品・OA機器・印刷	H16/2月	16.1%	"	H16/3月	35.5%	"
H16/1月	72.2%	文具・什器備品・OA機器・印刷									
H16/2月	16.1%	"									
H16/3月	35.5%	"									
⑤景観向上と予防	工場周辺の緑化	<p>本社・工場全体を樹木で囲み、その保護増植につとめ緑化を推進している。また側を流れる一級河川盛越川の清掃を定期的に行い環境を保っている。</p> <p style="text-align: right;">(写真資料 ⑧ 参照)</p>									
⑥環境教育	環境マネジメントシステムの取組	<p>品質ISO9001:2000の認証取得に続き、環境ISOに取組んでいる。環境保全の取組みを継続的に推進するためには、社員一人ひとりの意識と行動力を高めることがより重要です。このため、社員に向けての啓発活動や、環境教育を行っています。</p> <p>また、琵琶湖に恩恵を受ける企業として、地球環境にやさしい製品作りを目指します。</p>									





2002年度～2003年度 全社電力使用量実績



前年:平成14年4月～平成15年3月 本年:平成15年4月～平成16年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前年最大電力(kw)	239	232	381	430	470	458	389	285	293	349	352	309
本年最大電力(kw)	288	249	286	338	400	393	401	210	263	298	293	276
前年実績(kwh)	57,469	50,389	62,588	92,824	126,566	93,136	75,907	59,742	61,327	62,718	73,548	67,844
本年実績(kwh)	66,398	47,277	58,541	75,760	90,765	82,873	70,793	62,480	65,733	62,181	77,912	68,124
削減量(kwh)	8,929	-3,112	-4,047	-17,064	-35,801	-10,263	-5,114	2,738	4,406	-537	4,364	280

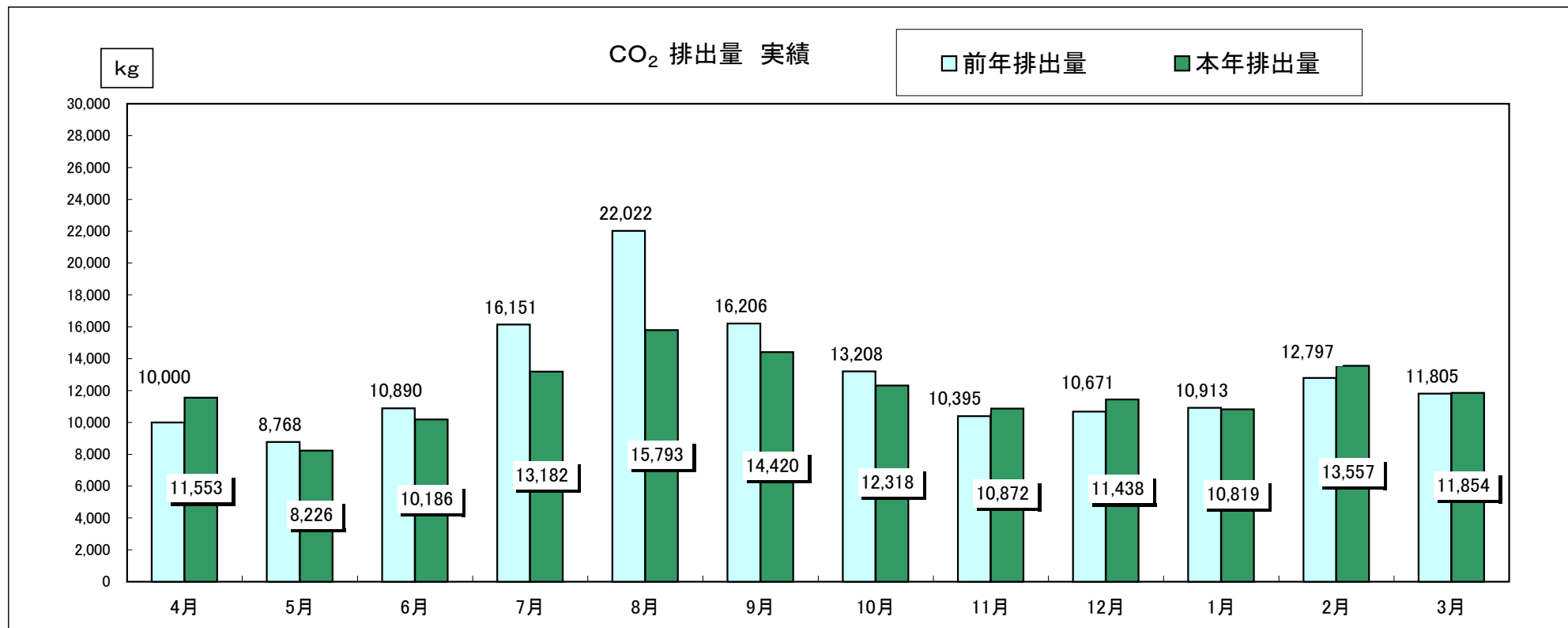
計	平均
4,187	349
3,695	308
884,058	73,672
828,837	69,070
-55,221	-4,602

前年比削減率 15.5% -6.2% -6.5% -18.4% -28.3% -11.0% -6.7% 4.6% 7.2% -0.9% 5.9% 0.4%

前年比削減量 -6.2%



2002年度～2003年度 全社CO₂排出量実績対比



前年:平成14年4月～平成15年3月 本年:平成15年4月～平成16年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前年排出量	10,000	8,768	10,890	16,151	22,022	16,206	13,208	10,395	10,671	10,913	12,797	11,805
本年排出量	11,553	8,226	10,186	13,182	15,793	14,420	12,318	10,872	11,438	10,819	13,557	11,854

削減量	1,554	-541	-704	-2,969	-6,229	-1,786	-890	476	767	-93	759	49
-----	-------	------	------	--------	--------	--------	------	-----	-----	-----	-----	----

前年比削減率	15.5%	-6.2%	-6.5%	-18.4%	-28.3%	-11.0%	-6.7%	4.6%	7.2%	-0.9%	5.9%	0.4%
--------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	------	------	-------	------	------

単位:kg

年間排出量	153,826	12,819
年間削減量	144,218	12,018
前年比削減率	-9,608	-801

前年比削減率 -6.2%



"Ó/ç 1 á y t G.%3s

" d Ò M rBò ü"ábó!ßBñBó

Ö&V ç c | ³\$

ãÁíÁíÁíÁí (Bú '5 7 ñ4 ãBè2,,Bé000C>:7B40

g ó q ñBú 8 ,



n# /— ±?y